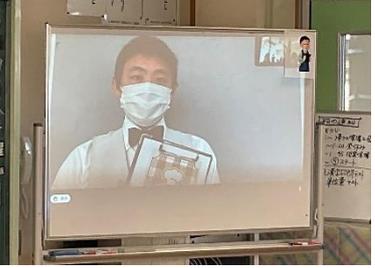


<令和3年度 学力向上推進事業 指定校 藤岡市立鬼石北小学校>

学年・教科：5年・外国語 単元名：「What would you like? ～おすすめメニューを紹介しよう～」
ねらい：飲食店の客や店員の立場になり、ていねいな表現で注文をしたり注文を受けたりすることができる。

教師の発問、児童の反応	学習の様子												
<p>1 あいさつを行う。 2 I'd like a hamburger. チャンツを行う。 3 スモール・トーク（テーマ：好きなもの）を行う。</p>													
<table border="1"> <tr> <td>S1 :</td> <td>What food do you like?</td> </tr> <tr> <td>S2 :</td> <td>I like curry and rice.</td> </tr> <tr> <td>S1 :</td> <td>It's delicious. Me too.</td> </tr> <tr> <td>S2 :</td> <td>How about you?</td> </tr> </table>	S1 :	What food do you like?	S2 :	I like curry and rice.	S1 :	It's delicious. Me too.	S2 :	How about you?					
S1 :	What food do you like?												
S2 :	I like curry and rice.												
S1 :	It's delicious. Me too.												
S2 :	How about you?												
<p>4 本時のめあてをつかむ。 T：単元のゴールは何ですか。 S：鬼石小の友達におすすめのメニューを考えて伝え合う。 T：そうですね。チャンツはどんな内容だった。 S：買い物やお金。 T：そのとき、似ているけど、 「What <u>food</u> do you like?」とは違った表現がでてきたよね。 S：What would you like? T：意味は同じかなあ？ S：ほとんど同じじゃない。 T：どうかなあ…。今日は、その違いを感じてほしいので、 スペシャルゲストを呼んでいます。 (ウェイターの服装をした ALT 登場)</p>													
<table border="1"> <tr> <td>ALT :</td> <td>Hello and welcome to this restaurant. This is our menu. <u>What would you like?</u></td> </tr> <tr> <td>T :</td> <td>Well, I'd like a <u>hamburger and tea.</u></td> </tr> <tr> <td>ALT :</td> <td>Sure. A hamburger and tea. Just a second, please. … Here you are.</td> </tr> <tr> <td>T :</td> <td>OK. Thank you.</td> </tr> <tr> <td>ALT :</td> <td>Thank you very much. Have a nice day.</td> </tr> <tr> <td>T :</td> <td>Have a nice day.</td> </tr> </table>	ALT :	Hello and welcome to this restaurant. This is our menu. <u>What would you like?</u>	T :	Well, I'd like a <u>hamburger and tea.</u>	ALT :	Sure. A hamburger and tea. Just a second, please. … Here you are.	T :	OK. Thank you.	ALT :	Thank you very much. Have a nice day.	T :	Have a nice day.	
ALT :	Hello and welcome to this restaurant. This is our menu. <u>What would you like?</u>												
T :	Well, I'd like a <u>hamburger and tea.</u>												
ALT :	Sure. A hamburger and tea. Just a second, please. … Here you are.												
T :	OK. Thank you.												
ALT :	Thank you very much. Have a nice day.												
T :	Have a nice day.												
<p>T：What <u>food</u> do you like? と What would you like? の違い、 何か分かった？ S：「何がいいんだ」って意味じゃない？ T：ALT の先生はどこにいると思う？ S：レストラン！ T：レストランで「何がいいんだ」って変じゃない。 S：「何がよろしいですか」かな。 T：それって、この前、国語でやった… S：あっ、丁寧語だ！ S：What food do you like? とかが、丁寧になったんじゃない。 T：そうだね。What would you like? は丁寧な言い方なんだね。 では、今日は実際に鬼石小とメニュー紹介をするときに 使う、レストランでの表現を練習しましょう。</p>													
<p align="center"><めあて> レストランで注文したり、受けたりしよう。</p>													

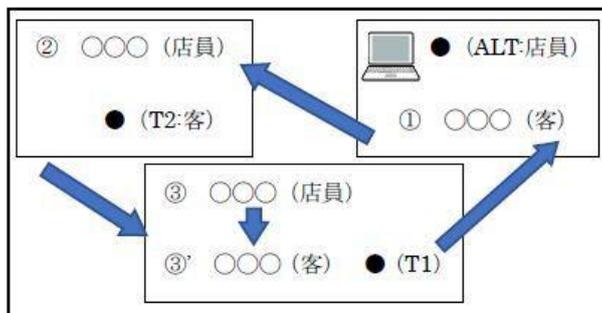
5 本時の活動 I を行う。

T : 3つのグループに分かれて、活動をしよう。

- ① ALTの先生のレストランで、オンライン注文をする
- ② レストランの店員として、先生(T2)から注文を受ける
- ③ 友達同士で、店員とお客のやりとりをする

T : 場所は、お客さんと店員さんの紙が貼ってあるところが目印です。

T : また、各班の空いている人は、友達の様子をタブレットで録画してください。必要に応じて、アドバイスもしようね。



【動画を見ているときの児童のつぶやき】 **自己調整**

S1 : 声が小さいな…もう少し大きい声で話そう。

S2 : Have / a / nice / day. って、言っているな。
(イントネーションを気にしている)

S3 : I'd like... って、うまく言えてないぞ。 など



6 中間評価を行う。

T : 自分の姿 (動画) を見て、どうですか。

S : 声が小さかった。

T : What would you like? とか言えてましたか。

S : 言えてた。

T : では、ちょっと先生たちのやりとりを見てください。

特に店員さんが何て言っているかを注意して見てください。

【モデルのやりとりを視聴】

T : どうですか。みんなと違うところがありますか？

S : 注文を受けた後、その注文を繰り返して確認している！

S : 聞き取れなかったとき、Pardon? って、言ってる！

T : そうですね。

そんなところも気にして、もう一度やってみましょう。

7 本時の活動 II を行う。

8 振り返りを行う。

T : 今日できたことや意識したこと、また、次回心掛けたいことなどを書いてみましょう。

S : What would you like? とともに、会話がスムーズになるように、リアクションの言葉を入れていきたい。



【個別最適な学び】

授業が始まる前、Challenge English for school の Select Lesson の「おおもじ3もじ」など、自分のやりたいレッスンを選択し、取り組んでいる児童が多く見られた。